

第11回 全国棚田【千枚田】サミット

テーマ 緑と水と心のオアシス

愛知県鳳来町の四谷地区は、耕作者の高齢化や後継者不足が深刻化している状況であり、典型的な中山間地域の棚田地帯です。平成12年度から平成14年度にかけ「ふるさと水と土ふれあい事業」により1,425mの作業道や水車小屋、ぼつとり小屋、休息施設、ふれあい広場が整備されました。

作業道の整備は、これまで耕耘機や田植機を搬入するだけで苦労をしていたところに、軽トラック1台が通れるだけの道が整備されただけで、農作業の効率化を図ることができ、耕作者は大変喜んでいます。

また、その他の施設を活用し、都市農村交流を図っています。

このように、自然環境をそのまま活かして、利活用している「四谷の千枚田」のあるがままの姿を見ていただき、話し合っていただきたいと考えております。

開催日程

9月2日(金) 第1日目

| 時 間 | 内 容 | 会 場 |
|-------------|-----------------------|------------------------|
| 9:00~ 9:50 | 全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会 | 鳳来町役場 |
| 10:00~11:40 | 全国棚田(千枚田)連絡協議会総会。首長会議 | 鳳来町開発センター |
| 11:50~12:30 | 昼食 | 鳳来町開発センター または中学校体育館 |
| 13:00~13:30 | 開会式 | 鳳来中学校体育館 |
| 13:30~15:00 | 基調講演 棚田学会会長 木村尚三郎 | 鳳来中学校体育館 |
| 15:00~18:30 | 四谷の千枚田見学(バス移動) | 四谷の千枚田 |
| 18:30~20:30 | 全体交流会 | 山びこの丘 |

9月3日(土) 第2日目

| | | |
|-------------|---------------------|--|
| 9:00~11:30 | 分科会(テーマごとに開催) | 鳳来町開発センター 愛知県民の森 鳳来中学校体育館 各分科会会場 中学体育館 |
| 11:30~12:30 | 昼食 | |
| 13:00~13:30 | 事例発表 連谷小学校「私たちの千枚田」 | |
| 13:30~13:50 | 四谷千枚田 絵画コンクール表彰式 | |
| 13:50~15:00 | 分科会の発表(討議・まとめ) | |
| 15:00~15:10 | 共同宣言 | |
| 15:10~15:30 | 閉会式 | |

基調講演

演題 「棚田は宝、棚田はいのち 一愛・地球博に寄せてー」

静岡文化芸術大学学長・棚田学会会長
木村尚三郎

分科会

第1分科会 『小さな自治』と棚田 制度見直し後の地域活性化のために

東京大学大学院 助教授 小田切徳美

第2分科会 緑 棚田と森を考える

愛知大学文学部 教授 藤田佳久

第3分科会 水 棚田と水を考える

東京農工大学大学院 教授 千賀裕太郎

第4分科会 心のオアシス

早稲田大学 名誉教授 中島峰広

先祖代々から受け継いだ文化遺産としての棚田を何としても
守っていかなければならない。

お百姓さんの率直な意見を話し合っていただきたい。

四谷の
千枚田

千枚田だより

第23号

棚田道足の下にも
豊明市 蟻道
河合満



全国棚田連絡協議会



四谷地区身平橋の念仏踊り

「はねこみ」が愛知万博に出演しました

六月三十日(木)・七月一日(金)の二日間、愛知万博長久手会場日本広場内特設会場で政府出展事業の日本館イベントとして第三回 日本華座スペシャル催事が行われました。

四谷の身平橋組の若い衆は万博でどういったことをやってきた!



この催事では、壮大な和リズムの饗宴「風流太鼓踊り」と題して世界的な太鼓ドラマー・ヒダノ修一氏のプロデュースにより、和太鼓の原点である風流の太鼓踊りと現代の太鼓パフォーマンスの融合した壮大な和リズムの饗宴が繰り広げられました。

その饗宴に、風流太鼓踊りは岩手県の「鹿おどり」、岐阜県の「表左太鼓踊り」、そして愛知県を代表して民族文化の宝庫と言われる奥三河、我が町からは日本有数の美しい棚田「四谷の千枚田」の風景が広がる山あいの集落・身平橋の伝統行事(町指定無形民俗文化財)、悪疫退散、亡魂鎮送を願う感情あふれる風流の「はねこみ」が披露されました。

現代の太鼓パフォーマンスには、ゴダイゴのリーダーとして「ガンダーラ」、

「銀河鉄道999」など多くのヒットを出し、日本中を席巻したミッキー吉野氏が、また、マイケル・ジャクソンに起用されたアメリカの Jennifer Batten さん(ギター)、和太鼓は全国から選抜した女性四名の太鼓奏者が競いました。

「はねこみ」は身平橋の若い衆、中老衆二十二人が連夜の練習を重ねて桧舞台に臨みました。

演目は「道行き」に始まり「輪づくり」、「はねこみ・岡崎、とうささぎ、四拍子」、「とり唄」、「はねこみ・しゃんぎり」、「出の岡崎」と続き、最後の引き庭の「道行き」では政府出展事業の日本広場で世界の人たちに「はねこみ」を披露できることに若い衆も中老衆も感涙に咽びました。また、観客の老夫婦から「よいものを見せてくださいた。

泣けました、ありがとうございました。」と握手を求められ、またまた感動で目頭が熱くなりました。

世界のアーチストや和太鼓奏者と饗宴の榮誉を得た一人一人が「大きなことをしたんだ」と満足し、四谷の千枚田同様、先祖からの遺産、伝承文化 念仏踊り「はねこみ」を守り、次世代に引継ぐことに自信と誇りを持ったことが今回の日本国際博覧会で得た何よりの収穫であったと思います。

これを糧として「第十一回全国棚田(千枚田)サミット」に於いても、全国から訪れる棚田関係者にアトラクションとして念仏踊り「はねこみ」を、自信をもつて披露する所存です。

なお、林正雄先生(町資料調査室)の連日のご指導、ご助言有り難うございました。

四谷の千枚田には、「極楽浄土」信仰のための十王が祀られているお堂があり、地元の人たちは「じゅとうさま」と親しみを持つて呼んでいます。

仏教では、人が死ぬと地獄か極楽の世界に行くと信じられていますが、その行き先は十人の王たちの裁判で決められます。この十王をお祀りして自分たちも極楽へ行きたいと願うのが十王思想です。

人間は死後、三途の川を渡つて行くと言われますが、三途の川は「強深瀬」、「山水の瀬」、「橋渡」の三か所の渡し場があると云われます。

死者は生前のなした善悪の程度により、悪人は「強深瀬」を、罪の浅い者は「山水の瀬」を、善人は「橋渡」

をそれぞれ渡ります。

三途の川の向こう岸には葬頭河(しようづか)婆といふ鬼婆が渡し賃(六文銭)を持たない亡者の着物をはぎ取り「懸衣翁」に渡し、それを川の畔の「衣領樹」に架け善惡を計ります。善人ほどよく垂れるそうです。

判決が言い渡されます。

判決は六段階の刑があり、最悪は「地獄」、次に「餓鬼」、「畜生」、「阿修羅」そして善人が行く「人道」、「天道」となっています。刑罰は「火あぶりの刑」、「舌抜きの刑」など恐ろしいメニューが揃っています。

忌明で地獄に落ちても地獄の法廷は再審制度があり、百か日、一周忌、三回忌に救われる道が開かれております。その上、有り難いことに、七回忌、十三回忌、三十三回忌にも再審が用意されています。



裁判は七日毎に四十九日まで七回、七人の裁判官(王)

| 十王表覽(仏教) | |
|----------|------------------|
| 王号 | 本地不釈迦如來文普賢菩薩地藏菩薩 |
| ①泰広王 | 不動明王 |
| ②初江王 | 釋迦如來 |
| ③宋帝王 | 文殊菩薩 |
| ④五官王 | 賢菩薩 |
| ⑤閻魔王 | 普賢菩薩 |
| ⑥變成王 | 地藏菩薩 |
| ⑦太山王 | 弥勒菩薩 |
| ⑧平等王 | 藥師如來 |
| ⑨都市王 | 觀音菩薩 |
| ⑩転輪王 | 勢至菩薩 |

から厳しい審判をうけ、百日・一周忌をすませて三回忌にはいよいよ十王の裁判を終えて地獄の裁判長である「閻魔大王」から最終集落では、家人が亡くなると、まず、何を置いても十王堂に駆けつけ、葬頭河婆に着物(さらし)を献上することを慣わしとし、現在でも続けられています。



これは、強欲でお洒落な葬頭河婆のご機嫌をとることにより亡者が裁判で有利になるよう、無罪で極楽へ行けるよう、お願ひする仏教信仰の伝承行事です。

そのおかげか、大代集落の昔からの裁判記録をみても誰一人として地獄へ陥った亡者はいませんでした。

(舜)の戯言

「地獄の沙汰も金(袖の下)次第」つちゆうのは鎌倉時代(三百五十年前)でも今でもちつとも変わっちゃあおらんだのん。それに葬頭河婆って言う鬼婆は、なんか憎めない可愛いところがあるじやんかん?。十王様を一生懸命にお詣りせりやあ極楽へ行けるずらかのん。

そうだ、サミットには全の大勢の人が極楽へ行けるようにお詣りせるだらあに賽銭箱を大きくせとかあにやあん。ああ忙しい:

千枚田のお母さん

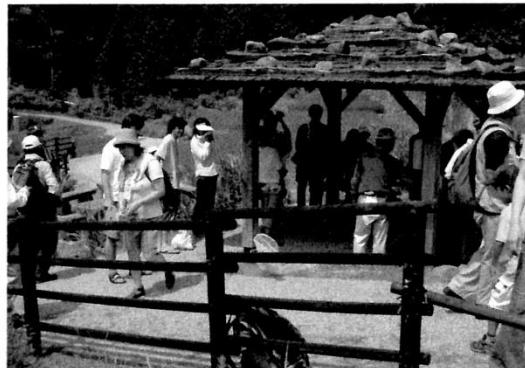
万博でCPR

万博市町村催事「鳳来町の日」（七月十四日）、長久



谷の千枚田で開かれ、県内支部指導員はじめ一般の自然愛好者・千枚田ファンが大勢、参加しました。

連中が観衆の前で四谷の千枚田とサミット開催のアピールを、心臓をドキドキさせながら行つてきました。



四谷の千枚田

A black and white photograph capturing a group of individuals in a rural setting, likely a farm or research station. In the foreground, a person wearing a wide-brimmed hat and a light-colored coat is crouched down, intently examining a plant. Behind them, several other people are visible, some wearing hats and carrying what appear to be scientific instruments or bags. The background shows a lush, green landscape with rolling hills under a clear sky.

護研究会

信用されませんでした。

道のない昔は稻でも生活用品でも「しょいた」でみ

備された景観道を登るだけ
で、トトの状態でござ。

内地位布里川猿寨

景觀整體

八月二十日

七月十七日(日)、ふれあい広場、農道沿線の草刈りや障害木の除伐作業を保存会、お助け隊二十八名の参加により行われました。



景觀整備

1

この活動は職員の自発的
ボランティアとして町内各
所で毎年実施されています。

走る環境教室

新城市役所主催、「走る環境教室」の一行が八月五日（金）・十二日（金）に四谷の千枚田を訪れ、小山舜二が対応します。

万博協賛「昔の脱穀

八月十五日から二十一日

サハラトモヒ あと四十二日

幾度なく訪ね
し飽きぬ

行
平成十七年七月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発文責 小山舜二